



## 訪れたくなる海岸 私たちの里浜 を目指して

里浜の会  
(袋井市)  
広岡英一さん(湊西)



訪れたくなる海岸、私たちの「里浜」といえる環境づくりを目指して、平成16年から活動を始めました。

ハマボウフウやハマヒルガオ、ハマエンドウなどの海浜植物の保護や育成を行うほか、子どもたちに海岸の姿を知ってもらうため、浅羽南小学校児童とともにハマボウフウと一緒に植えたり、公民館まつりや各種イベントなどで海岸を守るための啓発活動を展開したりしています。

これからは、海岸と砂防林を一体的に考え、訪れやすい環境づくりへの取り組みが必要だと思えます。ゆっくりじゅっくり取り組んでいます。会員数は16人。

## 地域みんなに 関心をもって もらうことが大切

あずまちょう  
東町保全林管理組合  
(御前崎市)  
阿南澄男さん



地元の海岸保全林28haの下草刈りや枝打ち、ごみ拾い、間伐などを行い、継続して保全林の維持管理を行っています。

下草刈りや枝打ちのほか、年間14回にわたり、松くい虫によって伐採した松を使って、100㎡以上の炭を作っています。

炭は、保全林の土壌改良材として松林に戻し、活用を図っています。

地域の皆さんに松林に関心をもってもらうため、浜岡砂丘の隣の公園の保安林を一般開放しています。皆さんに関心をもってもらうことが松林を守る最大の活動だと思っています。会員数は27人。

# 訪れる を前

促進期成同盟会(袋井市、御前崎市、掛川市、会)が行われました。  
三沢英一さんによる松林の保全活動などの紹介  
スカッションで意見交換しました。



## 子どもたちに 自分たちの手で 伝えたい

### 竜洋漁業振興会

(磐田市)

ひろたか  
相場啓誉さん

天竜川の遠州大橋から河口にかけて6月と10月に、清掃や草刈りなどを10年間にわたり行っています。天竜川で魚やシジミの生態を調べたり、生息する魚などの図鑑を作ったり、小学校に寄付したりして、子どもたちに川や海の姿を伝えていきます。

私自身は漁師なので、恵みを受けてきた天竜川に恩返ししたいと思って活動を続けています。「だれかがやってくれるではなく、自分たちが守るしかない」と思います。30年後、50年後、後世の人たちが喜ぶようなことをやっていきたいと思っています。

平成2年に会を設立。会員数は153人。



## 地域住民の 力をもっと使って

### 浜松の海を守る会

(浜松市)

清水浩利さん

「もっときれいな海でサーフィンをしたい」「子どもたちがはだしで駆け回れる美しい砂浜にしたい」こんな思いから平成15年に会を立ち上げました。

不法投棄の片付けやパトロール、ビーチクリーン活動やGPSを利用したごみの漂着地点の調査など海岸の美化に関する活動のほか、堆砂垣の設置による砂浜の復元、養浜活動などを通じて砂浜や松林の保全活動も行っています。

将来に松林を残していくためには、健全な維持管理が必要です。行政が柔軟に対応し、地域住民の力をもっと使って、松林を守っていくべきだと思います。会員数は30人。

# 山 海岸

11月12日、浅羽会館で遠州灘沿岸保全対策(磐田市、浜松市、新居町、湖西市)主催の講演「万里の松原に親しむ会」(山形県酒田市)のほか、地元ボランティアによりパネルディ